

信頼回復に全力!



吉富所長に聞く

10月26日の『原子力の日』を迎えるにあたり、今回は上関原子力発電所を巡る近況について、中国電力・上関原子力発電所準備事務所の吉富哲雄所長に直接お話を伺いました。

古泉 ● 着任以降、上関町での暮らしには慣れましたか。

吉富 ● 澄んだ空気と美しい海に囲まれた上関町の四季をこの7月でようやく一巡しました。おかげさまで、この間に様々な行事や催物にも参加させていただきました。震災後の着任ではありましたが、皆さまに温かく迎えていただき本当に感謝しております。

一方職務の方では、昨年の準備工事一時中断を受け、建設計画自体に不透明感が増してきており、皆さまにご心配をお掛けしていることを大変申し訳なく思う次第です。

上関地点は必要不可欠

古泉 ● 早速その建設計画についてですが、9月14日に政府が新たな戦略を明らかにし「原子力発電所の新設・増設は行わない」との方針を示しましたが、どのように受け止めておられますか。

「原子力発電所の新設・増設は行わない」との方針を示しましたが、どのように受け止めておられますか。

上関原子力発電所準備事務所
吉富 哲雄 所長

山口県出身
昭和31年8月 生まれ
昭和54年 中国電力に入社
平成23年6月から現職



① 吉富所長(左)と対談する古泉事務局長

吉富 ● このたび政府が示した方針については、重く受け止めなければならぬと考えています。その背景には、原子力発電所の安全性だけでなく、電力会社に対する国民の皆さまからの信頼が大きく揺らいでいる事実があり、我々はそのことを十分認識する必要があります。ただエネルギー資源に乏しい日本に

埋立免許の延長を申請

高い安全性求め、設計変更も

古泉 ● 10月5日に埋立免許の延長申請を県に対して行いましたが、その思いをお聞かせください。

吉富 ● 原子力を取り巻く状況は非常に厳しく、今後政府の検討結果を待つ必要があると思いますが、当社としては上関原子力発電所の建設を引き続き進めたいとの思いは変わっていません。準備工事を含め、建設計画を直ちに前へと進める状況ではないと認識していますが、埋立免許を引き続き維持したいと考え、工事期間の延長を申請させていただきました。また今回の申請では、福島での事故を教訓として、津

において、将来にわたる安定供給や環境保全、さらに経済性のバランスを十分考えた時、原子力発電所の果たす役割は非常に大きいものと考えています。当社としても、上関原子力発電所が必要不可欠な電源であるとの認識はいささかも変わっていませんが、その前提には、原子力発電に対する皆さまからの信頼が欠かせないことを肝に銘じています。

状況を見極めて対応すべき

古泉 ● 先日、枝野・経済産業大臣が、上関原子力発電所を「新増設しない原則の適用対象」と発言されており、建設計画が困難視されていますが、いかがでしょうか。

吉富 ● 政府は今回策定した戦略について不断の検証・見直しを行うとしています。すし、個別地点の具体的な取り扱いは今後検討されると聞いています。しばらくの間は、状況を冷静に見極める必要があると思っています。



県へ提出した埋立免許の伸長申請書

古泉 ● 具体的にはどのような設計変更に対する一層の安全確保を目的とした設計変更も盛り込んでいます。

更をされたのでしょうか。

吉富 ● 発電所の主要建物を設置する敷地の高さを、従来の海拔10mから15mへと変更したのが主な内容です。上関原子力発電所で想定される最大の津波は、これまでと同様に満潮時で海拔4.6m程度ですが、当社では津波対策をより強化することで、皆さまの安心につなげるものと判断しました。

古泉 ● 福島第一原子力発電所の事故以降、安全性について不安を感じている方もいらっしゃると思いますが、その方々へはどのように対応していくつもりでしょうか。

吉富 ● 建設を実現するためには、お一人でも多くの皆さまにご安心いただくことが必要不可欠です。そのため、当社はこの事故から得られた教訓や最新の知見に対して適切に、そして確実に建設計画に反映させるとともに、時間はかかるかと思いますが、皆さまへしっかりと伝えたい努力を続けてまいります。

協力してまちづくりを

古泉 ● 最後に町民に対するメッセージがあればお聞かせください。

吉富 ● 昨年来、上関町の皆さまには大変ご心配をおかけしており、誠に申し訳ございません。そのような中、町内の多くの皆さまからは「時間はかかるかもしれないが、諦めずに頑張ってください」といった温かい励ましの言葉を多数いただいております。感謝の気持ちでいっぱいです。当社としては、こうした声にしっかりと応えるため、建設を契機とした上関町のまちづくりに、微力ながら出来る限り貢献していきたいと考えています。

皆さまにおかれましては、引き続き、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。